



～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 御殿場地区をつなぐ地区版広報誌～

ふじ伊豆

御殿場
地区版広報誌

Fuji Izu plus

2024
10
vol.15
2024年10月1日発行

新米の季節がやってきました！ 今年は一瞬、全国的に米が品薄となったことから、例年以上に新米を待つていた方も多いのではないのでしょうか。

御殿場地区産の「こしひかり」は9月中旬にはほぼ収穫が終わり、ファーマーズ御殿場の店頭にも「こてんばこしひかり」が並んでいます。ほのかな甘みと粘りのある食感、そして香り高い「こてんばこしひかり」の新米、まずは炊き立てをおなかいっぱい楽しんでください！

精米したての米が買えるファーマーズ御殿場の「精米コーナー」は、10月中旬ごろからの再開を予定しています。

ファーマーズ御殿場



住所 御殿場市栄茂沢5
営業時間 8:30～17:00
定休日 水曜・年始
電話 0550-81-1831



でちそうカントリーで

「こてんばこしひかり/このはなの恵み」を紹介



左から MCの國本良博さん、小宮山さん、勝又厚職員、岩本美蘭アナ



「お結びや ふう」の女将 三森美樹子さん(中央)

9月29日放送の静岡第一テレビ「でちそうカントリー」では、御殿場・小山エコ栽培米出荷組合の小宮山勉さん(深沢)が「こてんばこしひかり」の最上級ブランド「このはなの恵み」の栽培方法やおいしさの秘密を紹介。「こてんばこしひかり」を食べられる店として、神山の「お結びや ふう」に出演いただきました。



番組は、静岡第一テレビのYouTubeチャンネルでご覧いただけます

ふじ伊豆+ お知らせコーナー

第3回

御殿場地区

農協祭

農産物品評会への出品も
お待ちしております

催し物

と き/令和6年11月16日(土) 9:00～15:00
ところ/ JA育苗・種子粉センター (御殿場市板妻606-1)

- 農産物品評会 ●かかしコンテスト
- 「こてんばこしひかり」のおにぎり・豚汁サービス
- ステージイベント ●抽選会 など盛りだくさん!



人間ドックサービスについて

JAでは生命共済契約者サービスの一環として、本年度も人間ドック受診と受診料助成を行います。受診料助成は世帯合計の生命共済契約額に応じ、世帯内被共済者1名の助成となります。受診料助成後の受診者負担額と御殿場地区管内の実施期間は下記の通りです。

加入者対象保障額(生命共済)	受診者負担額(税込)
1.5億円以上	1名 3,300円
1億円以上1.5億円未満	1名 8,800円
5千万円以上1億円未満	1名 14,300円
2.5千万円以上5千万円未満	1名 20,900円
2千万円以上2.5千万円未満	1名 22,000円
上記以外または2人目以降	1名 24,200円

- 人間ドック、オプションの受入れ人数に制限があるため、先着順とさせていただきます。日程がご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。なお、施設までJA手配の送迎バスが出ます。
- 受診者負担額に昼食代(税込1,300円)、温泉利用時のタオル代(税込330円～)は含まれません。別途個人負担となります。※原則タオル持参をお願いしております。
- 受診料助成基準日は、令和6年2月末時点の共済保障額です。

受診施設/ JA静岡厚生連 中伊豆温泉病院(伊豆市下白岩75)

実施期間/ 令和6年11月25日から令和7年1月21日までのうちJAの指定する日

※人間ドックの案内は1世帯に1通、郵送または支店からお届けします。
(生命系長期共済契約額2千万円以上のJA共済加入世帯が対象となります)

詳しくは 御殿場地区共済課 電話:0550-84-4831 または最寄りの支店までお問い合わせください

個別土地・相続相談会のご案内

不動産相談センター御殿場店では、毎月第2、第4水曜日に「個別土地・相続相談会」を開催しています。お気軽にご相談ください。

相談料無料 予約制 受付時間/ 9:00～16:00(全日程)

10月	9日	11月	13日	12月	11日
	23日		27日		25日

★平日にご来店できない方へ、土曜日にも開催します
10月19日、11月30日、12月14日

お問い合わせ・ご予約は 不動産相談センター御殿場店 電話:0550-84-4811

2024ファッションふれあい広場

衣料品やジュエリー、寝具などを取りそろえています。

どなたでもご来場いただけます!

と き:10月18日(金) 9:30～18:00
19日(土) 9:30～18:00
20日(日) 9:30～15:00

ところ: JAふじ伊豆 御殿場地区本部
3階特設会場

お問い合わせ先: 御殿場地区購買課 電話:0550-70-7033

8月20 小山支店が
特殊詐欺被害未然防止で
感謝状受ける

小山支店の稲真司支店長と窓口担当の勝又莉椰職員は、特殊詐欺被害を未然に防止したとして、御殿場警察署の山田祐三署長から感謝状が贈られました。

同支店は7月下旬、「息子から会社資金の用立てに200万円必要だと連絡があったので、現金で出金したい」と申し出た来店者と、8月上旬に「息子が会社を首になつてしまつたので、100万円引き出したい」と申し出た来店者の詐欺被害をそれぞれ防止しました。

稲支店長は「窓口担当者には日頃から、大口出金の申し出があった場合は、特に詳しく資金使途を聞くように指導している。これからも利用者の財産を守るため、支店職員の協力体制や警察との連携を強化していく」と話します。



山田署長から感謝状を受け取る勝又職員（左）



左から稲支店長、勝又職員、山田署長

8月23 カントリーエレベーター・
ライスセンター火入れ式行う



カントリーエレベーター・ライスセンター火入れ式で稼働中の安全を祈願する参列者



高根支店敷地内での米集荷の様子

御殿場地区では令和6年度産米の収穫開始を前に、カントリーエレベーター・ライスセンターの火入れ式を行いました。

ライスセンターでは8月24日から9月12日までもち米を、9月14日から9月23日までうるち米を受け付け、カントリーエレベーターは8月31日から9月30日まで稼働しました。

今夏は昨年以上に猛暑となり、生育が例年よりも早く進んだことや台風の影響による米の品質が懸念されましたが、品質、収量とも上々です。

なお、当地区では米の検査を10月24日まで行っています。検査場ごとに検査日が異なりますので、詳しくは各営農経済センターまでお問い合わせください。

御殿場地区
トピックス

9月 青壮年部と女性部が
御殿場地区本部職員と
意見交換を行う

御殿場地区青壮年部本部役員は8月20日、同地区女性部本部役員は9月9日にそれぞれ、当JA御殿場地区本部の岸沢和彦地区本部長、村松貴久副地区本部長、勝又冲統括営農経済センター長など意見交換を行いました。

青壮年部の意見交換会では、荒井隆部長が「意見交換会は各地区で行われている。各地区の意見をJA全体にフィードバックし、JA事業や組織活動に反映してもらいたい」とあいさつしました。

青壮年部、女性部ともに、部員になるメリットや部員数を増やすための取り組みなどについて職員と活発な意見交換が行われました。



意見を述べる原文孝青壮年部員（左）

9月5 交通安全
宣言書を提出

当JA御殿場地区本部の岸沢地区本部長とJA協同サービス（株）の小澤一宗執行役員は御殿場警察署を訪れ、役員と社員、合わせて354世帯1,132人が署名した「交通安全宣言書」を、山田署長と長田忠臣御殿場地区安全運転管理協会会長へ提出しました。

静岡県JAグループでは、秋の「全国交通安全運動」に呼応し、昭和56年から交通安全運動に協力しています。



左から長田会長、山田署長、岸沢地区本部長、小澤執行役員

8月25 農住部会が
山梨へ研修旅行

不動産相談センター御殿場店が管理しているアパートのオーナーで構成する農住部会は、山梨県へ日帰りの研修旅行を行いました。

19人が参加し、車内では入居率を上げるための取り組みについて情報交換が行われ、現地では巨峰狩りなどを通して会員の親睦を図りました。



参加した農住部会員とその家族

小学生の
食農教育活動に協力！

今年も、御殿場地区の青壮年部や各支店・営農経済センターでは食農教育活動の一環として、御殿場地区の小学校で行われる米作りに協力しました。9月に行われた稲刈りの様子を紹介します。



富士岡小学校
富士岡支店・富士岡営農経済センター



神山小学校
神山支店・富士岡営農経済センター



原里小学校
原里支店・原里営農経済センター



朝日小学校
原里支店・原里営農経済センター



玉穂小学校
玉穂支店



御殿場小学校
御殿場支店・くみざわ支店・はなみずき支店・あぐりーん営農経済センター



東小学校
御殿場支店・くみざわ支店・はなみずき支店・あぐりーん営農経済センター



御殿場南小学校
新橋支店・あぐりーん営農経済センター



高根小学校
高根支店・あぐりーん営農経済センター



北郷小学校
北郷支店・北郷営農経済センター



足柄小学校
足柄支店



明倫小学校
小山支店

9月24 食味分析計を導入
JA共済の助成金を活用

御殿場地区営農課は、JA共済の地域・農業活性化促進助成金を活用し、米の食味分析計を2台新たに導入しました。

導入したのは、静岡製機（株）の食味分析計「TMX-1」です。新開発の機器により、測定精度が今まで以上に正確になることから、同営農課の天野敏英課長は「米の品質がさらに統一できるので、消費者に「いつもと同じ米」を提供できる。これはJAの信頼や『ごてんばこしひかり』のブランド力の強化にもつながる」と話します。



新しい食味計を使用する検査員



食味計の側面に添付したステッカー